



KIKIGAKI



発行者：聞き書き甲子園実行委員会

聞き書き壁新聞 2025

https://www.kikigaki.net

発行日：2025年5月

取材先は全国に広がる15の地域

尾瀬流域連携地域 (福島県南会津町・群馬県片品村)

群馬県上野村

岐阜県郡上市 (石徹白地域)

木曾川水系上下流連携地域 (愛知県大府市・長野県木曾町)

京都府京都市

岡山県新庄村

秋田県藤里町

岩手県東稲山麓地域 (一関市舞川地区・奥州市生母地区・平泉町長島地区)

神奈川県相模原市 (緑区青根・牧野地域)

奈良県吉野町

岡山県備中地域 (笠岡市・高梁市・総社市)

愛媛県松野町

大分県日田市 (筑後川上流地域)

宮崎県椎葉・西米良地域 (椎葉村・西米良村)

鹿児島県いちき串木野市

【2025年度の受け入れ地域】

24th 聞き書き甲子園

森・川・海の名人に会い、暮らしを知り、にっぽんの未来に繋ぐ。

第24回聞き書き甲子園では、全国から参加する高校生が森・川・海の名人の仕事場を訪ね、その知恵や技、人生を1対1で聞き書きします。今年参加する高校生が取材するのは、全国15の地域で暮らす名人たち。その仕事は、樵、造林手、木工職人、大工、漁師など、さまざまです。自然と関わる仕事をしながら、先人たちの知恵や技術を受け継いできた名人たちの言葉には、未来を考えるためのヒントが詰まっているはず。聞き書き甲子園に参加して、知らなかった世界に一步ふみ出してみませんか？

聞き書き甲子園の1年

6月23日まで 応募する

8月16・19日 研修 都内・宿泊あり

9月 取材をする①

10月 書き起こす

12月 作品にまとめる

3月下旬 フォーラム (成果発表会)

冊子になる

名人のところにまた訪ねていきたいな。

参加者の声

私は、うなぎの塚魚の見学をして、魚一匹を獲得することの苦労と実態を知りました。名人は「自然を私たちが整え、少しの恵みを頂く」という、印象深い考えを教えてください。塚魚作業をしながら語る名人さんの姿は大きくかつこよく見えました。(福岡県Kさん)

木造船に想いを乗せて

「名人」番匠 光昭 (富山県水見市)

「聞き書き」小林 華音 (東京都大妻中野高等学校2年)

頑固な親父と俺

俺は中学生の時から親父のもとで仕事してたもんで、親父には「船大工に学問はいらん、高校に行くな」と言われた。(中略)でも俺が一人前の船大工になれたのは、親父に厳しくしてもらったからなのかなと思うから、感謝してるよ。

波乱万丈な人生

俺は木造船とFRP(繊維強化プラスチック)の船の両方をつくってきた。(中略)10年間、FRPの船ばかりつくってたんだけど、木造船も船大工もだんだんいらなくなってくるのが寂しいなあとと思うようになった。そんな時、氷見市立博物館の学芸員が、木造船を復元してくれんか、木造船集めせんか、という話をもちかけてくれた。それで活動してるうちに、船大工も悪くないなと思えるようになったんよな。(中略)大変なことがいっぱいあったけど、逆に苦労してきたから今に繋がってるんやと思う

手が動く電動の融合

和船船大工と言っても、使う道具は全部昔ながらというわけではない。(中略)理屈が分かるとれば、電気道具を使っても、手作業でつくったようになるからな。木工職人は木の性質をしっかりと覚えなくちゃならん。上手に道具を使うのが日本の職人なんだ。だからこそ俺は、最後まで職人でありたいんだよな。

木造船づくりは人生そのもの

仕事はやつとる時は大変やけど、船づくりが仕上がると楽しくて楽しいんや。達成感があるから頑張れる。お客さんが喜ぶ姿をイメージしながらつくってるからな。(中略)船大工という、いずれはなくなる職業のことを伝えていくのも、俺の役目なんじゃないかと思うよな。

集まれ、高校生。

〈募集内容〉●参加資格 高校生 ●募集人数 93人 ●参加条件 事前研修に参加できること。取材を行うことができること。(※)また、聞き書き作品を期日までに提出すること。●公共交通機関を利用した長距離の移動、グループワークや講義への参加、団体での宿泊に問題がないこと。これらに特別な配慮が必要な方は、応募の前にお問い合わせください。●参加費 無料(事前研修、取材、成果発表会にかかる旅費は主催者が負担します) ●応募方法 参加申込書と応募動機を書いた作文(400字程度)を事務局までお送りください。

そがなペースで編んでいく

「名人」多久間 博子 (岡山県真庭市)

「聞き書き」安住 愛華音 (鳥取県立鳥取西高等学校2年)

がま細工にであうまで

(中略) 近所の人が冬仕事で、がま細工しとられたんよ。先輩が一緒習いにいこう言うて、そこに遊びに行きよった。そうしたら、ああできるかもわからんなあ思うて、冬の間習っ

であえてよかつた

子どもの時はなあ、将来の夢なんて考えて無かつたなあ。戦後っていうのもあつたかも。がま細工してなかつたら私縫い物しよと思う。(中略) 私にとって、がま細工は仕事でもあつて趣味でもあるんよ。近くでやつとつたおかげで私も習えた。(中略) 今はがまとであえたことが一番幸せですね。もうただただ、がまを教えてもらった先輩と今いる会員のみんなに感謝しています。(第23回聞き書き作品集より抜粋)

ファミリーマートは、「夢の掛け橋募金」を通じて、この活動を応援しています。

ファミリーマートは、2006年から「ファミリーマート夢の掛け橋募金」として店頭募金を実施し、NGO/NPOと連携して、子どもたちと地球の未来のために活動しています。国内のファミリーマート店舗で行われているこの募金は、株式会社ファミリーマートからの企業寄付と合わせて、様々な団体に寄付されています。その一部は、公益社団法人国土緑化推進機構への寄付を通じて、「聞き書き甲子園」の活動を支援しています。

あなとも、コンビニに FamilyMart

編むときは干したときの硬さよりちよつと柔いほうがええけえ、熱い湯で締める。紐で縛つて一晩置いて、明るる日それを使って編むんだけど。(中略) 1人で1つの作品を仕上げるとは、はじめから終わるまで、大体1つ作るのに詰めても3日かかるわ。

続けていられた理由

私は昭和の15年生まれだけえ。「無理だけえ辞める」なんてことできんげえなあ。若い人とは違つて、そがな時代を生きてきたから続けてこられたと思うよ。

であえてよかつた

子どもの時はなあ、将来の夢なんて考えて無かつたなあ。戦後っていうのもあつたかも。がま細工してなかつたら私縫い物しよと思う。(中略) 私にとって、がま細工は仕事でもあつて趣味でもあるんよ。近くでやつとつたおかげで私も習えた。(中略) 今はがまとであえたことが一番幸せですね。もうただただ、がまを教えてもらった先輩と今いる会員のみんなに感謝しています。(第23回聞き書き作品集より抜粋)

